

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／債券 無期限	
運用方針	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	
ペビーファンド の主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
マザーファンド の主要投資対象	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
各ポートフォリオ のベンチマーク	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	各マザーファンドの受益証券のベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で当社が算出した合成指数をベンチマークとします。
組入制限	各ポートフォリオ共通	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	各マザーファンド共通	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

## 運用報告書(全体版)

# しんきん 海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ  
米国ソブリン債ポートフォリオ  
欧米ソブリン債ポートフォリオ

第79期（決算日：2023年2月15日）

第80期（決算日：2023年5月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。


さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2023年5月15日に第80期の決算を行いました。

ここに、第79期から第80期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社  
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812  
（土日、休日を除く）携帯電話からは03-5524-8181  
9：00～17：00

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

# 目 次

---

◇しんきん海外ソブリン債セレクション	頁
欧州ソブリン債ポートフォリオ	1
米国ソブリン債ポートフォリオ	11
欧米ソブリン債ポートフォリオ	21
分配金のお知らせ	32
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	33
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	37
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	46

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額		
	(分配落)	税分	み達金騰落	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落			中率	
	円		円		%	ポイント	%	百万円	
71期(2021年2月15日)	9,803		45		1.3	250.41	2.1	96.4	290
72期(2021年5月17日)	9,828		45		0.7	251.74	0.5	96.8	294
73期(2021年8月16日)	9,812		45		0.3	253.28	0.6	97.1	285
74期(2021年11月15日)	9,699		45		△0.7	252.21	△0.4	97.0	281
75期(2022年2月15日)	9,176		45		△4.9	241.59	△4.2	96.5	265
76期(2022年5月16日)	8,856		45		△3.0	234.67	△2.9	95.6	253
77期(2022年8月15日)	8,827		45		0.2	236.61	0.8	96.5	250
78期(2022年11月15日)	8,524		45		△2.9	232.90	△1.6	97.0	244
79期(2023年2月15日)	8,227		45		△3.0	227.13	△2.5	95.7	231
80期(2023年5月15日)	8,534		45		4.3	236.70	4.2	96.2	240

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

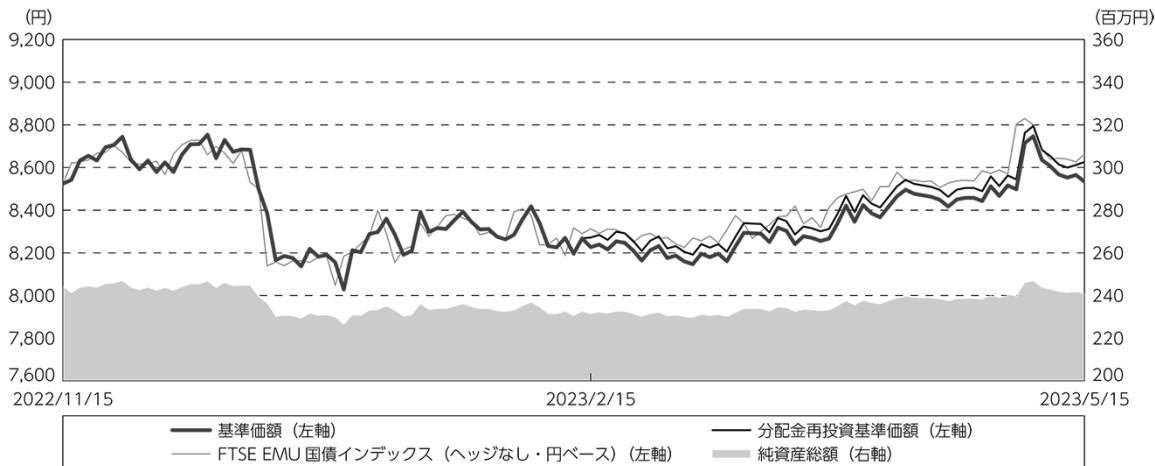
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし円ベース)	騰 落 率	
第79期	(期 首) 2022年11月15日	円 8,524	% -	ポイント 232.90	% -	% 97.0
	11月末	8,633	1.3	235.42	1.1	96.0
	12月末	8,155	△4.3	219.88	△5.6	95.4
	2023年1月末	8,276	△2.9	226.13	△2.9	96.2
	(期 末) 2023年2月15日	8,272	△3.0	227.13	△2.5	95.7
第80期	(期 首) 2023年2月15日	8,227	-	227.13	-	95.7
	2月末	8,232	0.1	225.89	△0.5	95.3
	3月末	8,421	2.4	231.57	2.0	95.4
	4月末	8,498	3.3	240.53	5.9	95.5
	(期 末) 2023年5月15日	8,579	4.3	236.70	4.2	96.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第79期～第80期）の運用経過等（2022年11月16日～2023年5月15日）  
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2022年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟(EMU)参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第78期末基準価額		8,524円	
要因	外国債券	キャピタル	△96円
		インカム	89円
	為替	158円	
	小計	151円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△51円	
第80期末基準価額		8,534円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

## ＜上昇要因＞

- ・2022年7月以降、欧州中央銀行（ECB）がインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施しており、継続的な利上げが市場でも予想されていることを背景に欧州国債金利が上昇する中、日欧金利差の拡大を意識したユーロ買い円売りが優勢となり、ユーロ高円安が進んだこと。

## ＜下落要因＞

- ・2022年7月以降、ECB政策理事会において、継続的に利上げが決定されており、また、その後もインフレ対策のために利上げを継続することや、量的引締め加速が必要であるとの見方をECBメンバーの一部が示したことなど等が材料視され、欧州国債金利が上昇したこと。

## ＜投資環境＞

### （欧州債券市況）

当作成期初の欧州国債金利は、揉み合いながら上昇しました。インフレ高進を抑制するための継続的な利上げが市場で予想されており、またECBメンバーの金融引締めに対する積極的な姿勢が示される発言が相次いでいること等を背景に欧州国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、2023年3月にスイス金融大手であるクレディ・スイス・グループの信用不安が高まり、欧州国債金利は大幅に低下する場面もありましたが、スイスの金融最大手であるUBSがクレディ・スイス・グループの買収を決定したことを受け、その後の欧州国債金利は反発しました。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当作成期初から揉み合う展開が続いていましたが、2022年12月に日本銀行が長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことを受けて、ユーロ安円高方向に大きく推移しました。また、2023年3月にスイス金融大手であるクレディ・スイス・グループへの信用不安が広がり、ユーロが売られる展開もありましたが、スイスの金融最大手であるUBSによる買収が決定されたことや、ECBによる追加利上げを意識した欧州国債金利の上昇等を背景に、大幅に反発したことで、当作成期のユーロ円は上昇しました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2023年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.28年、時価最終利回りは2.77%となっています。

## <当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+1.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.6%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## <分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第79期、第80期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第79期	第80期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.544%	0.525%
当期の収益	21	41
当期の収益以外	23	3
翌期繰越分配対象額	2,877	2,873

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年5月15日)

項 目	第79期～第80期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.518	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(18)	(0.218)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(23)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.024	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	45	0.542	
作成期間の平均基準価額は、8,369円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

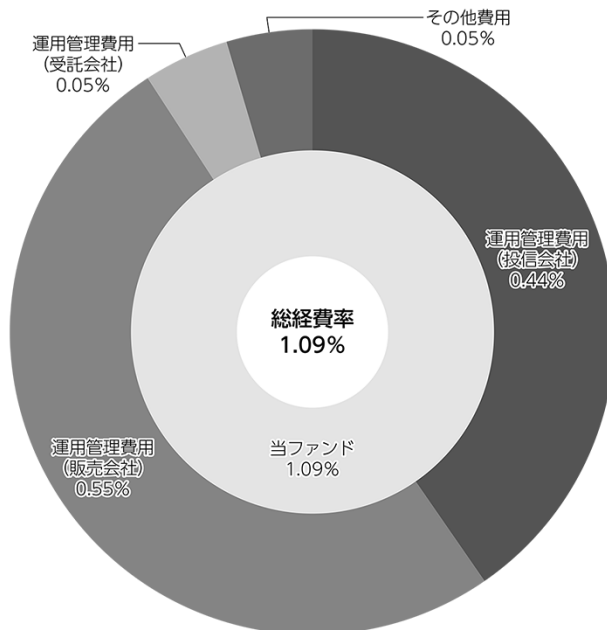
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。



(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 欧州ソブリン債ポートフォリオ

### ○売買及び取引の状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第79期～第80期			
		設		解	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	5,511	8,500

(注) 単位未満は切り捨て。

### ○利害関係人との取引状況等

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

### ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

### ○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

#### 親投資信託残高

銘	柄	第78期末		第80期末				
		口	数	口	数	評	価	額
			千口		千口			千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド			154,726		149,215			236,207

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド8,589,763千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	第80期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	236,207	97.3
コール・ローン等、その他	6,477	2.7
投資信託財産総額	242,684	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年5月15日現在における外貨建純資産(13,549,985千円)の投資信託財産総額(13,597,451千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年5月15日現在、1ユーロ=147.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第79期末	第80期末
	2023年2月15日現在	2023年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	233,193,572	242,684,050
コール・ローン等	7,520,748	6,476,644
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	225,672,824	236,207,406
(B) 負債	1,892,442	1,874,567
未払収益分配金	1,265,128	1,269,745
未払信託報酬	623,922	601,463
未払利息	9	16
その他未払費用	3,383	3,343
(C) 純資産総額(A-B)	231,301,130	240,809,483
元本	281,139,712	282,165,618
次期繰越損益金	△ 49,838,582	△ 41,356,135
(D) 受益権総口数	281,139,712口	282,165,618口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,227円	8,534円

(注1) 当ポートフォリオの第79期首元本額は286,596,400円、当作成期(第79期～第80期)中における追加設定元本額は2,302,156円、同一部解約元本額は6,732,938円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第79期0.8227円、第80期0.8534円です。

○損益の状況

項 目	第79期	第80期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 991	△ 714
支払利息	△ 991	△ 714
(B) 有価証券売買損益	△ 6,439,175	10,534,068
売買益	37,642	10,534,582
売買損	△ 6,476,817	△ 514
(C) 信託報酬等	△ 627,568	△ 605,524
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,067,734	9,927,830
(E) 前期繰越損益金	△44,986,100	△53,303,375
(F) 追加信託差損益金	3,480,380	3,289,155
(配当等相当額)	( 60,034,795)	( 60,336,515)
(売買損益相当額)	(△56,554,415)	(△57,047,360)
(G) 計(D+E+F)	△48,573,454	△40,086,390
(H) 収益分配金	△ 1,265,128	△ 1,269,745
次期繰越損益金(G+H)	△49,838,582	△41,356,135
追加信託差損益金	3,480,380	3,289,155
(配当等相当額)	( 60,035,260)	( 60,336,930)
(売買損益相当額)	(△56,554,880)	(△57,047,775)
分配準備積立金	20,857,395	20,743,687
繰越損益金	△74,176,357	△65,388,977

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第79期計算期間末における費用控除後の配当等収益(607,169円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(60,035,260円)および分配準備積立金(21,515,354円)より分配対象収益は82,157,783円(10,000口当たり2,922円)であり、うち1,265,128円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第80期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,162,049円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(60,336,930円)および分配準備積立金(20,851,383円)より分配対象収益は82,350,362円(10,000口当たり2,918円)であり、うち1,269,745円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額				ベンチマーク		債組入比率	純資産額	
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰落	中率			期騰落
	円		円		%	ポイント	%	百万円	
71期(2021年2月15日)	9,543		45		△1.3	392.30	△0.7	96.8	337
72期(2021年5月17日)	9,653		45		1.6	398.28	1.5	96.5	331
73期(2021年8月16日)	9,789		45		1.9	407.64	2.3	96.9	361
74期(2021年11月15日)	9,995		45		2.6	419.17	2.8	97.5	359
75期(2022年2月15日)	9,723		45		△2.3	412.03	△1.7	96.9	322
76期(2022年5月16日)	10,240		45		5.8	437.02	6.1	96.4	332
77期(2022年8月15日)	10,448		45		2.5	450.53	3.1	96.9	323
78期(2022年11月15日)	10,379		45		△0.2	449.11	△0.3	96.8	316
79期(2023年2月15日)	9,952		45		△3.7	438.27	△2.4	96.7	306
80期(2023年5月15日)	10,368		45		4.6	455.48	3.9	96.8	321

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

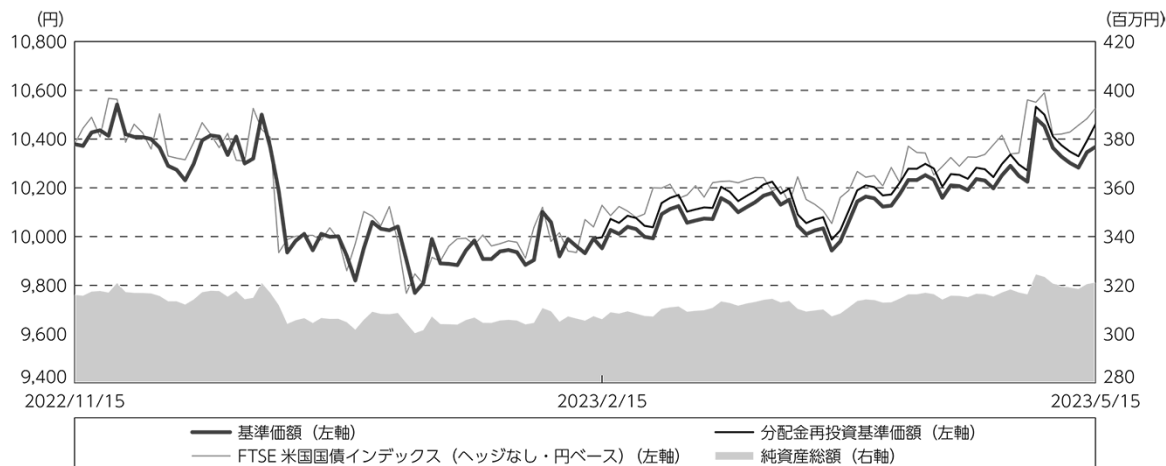
決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	F T S E 米 国 国 債 イ ン デ ッ ク ス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落 率	
第79期	(期 首) 2022年11月15日	円 10,379	% -	ポイント 449.11	% -	% 96.8
	11月末	10,365	△0.1	454.49	1.2	97.4
	12月末	9,921	△4.4	426.66	△5.0	96.2
	2023年1月末	9,945	△4.2	431.95	△3.8	96.2
	(期 末) 2023年2月15日	9,997	△3.7	438.27	△2.4	96.7
第80期	(期 首) 2023年2月15日	9,952	-	438.27	-	96.7
	2月末	10,113	1.6	442.00	0.9	97.2
	3月末	10,144	1.9	444.26	1.4	96.5
	4月末	10,225	2.7	456.98	4.3	96.5
	(期 末) 2023年5月15日	10,413	4.6	455.48	3.9	96.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## 米国ソブリン債ポートフォリオ

### ○当作成期中（第79期～第80期）の運用経過等（2022年11月16日～2023年5月15日） <当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2022年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### <基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

#### 基準価額の変動要因

第78期末基準価額		10,379円	
要因	外国債券	キャピタル	335円
		インカム	127円
	為替		△325円
	小計		137円
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△58円	
第80期末基準価額		10,368円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

### <上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの鈍化や2023年内の利下げ開始が市場で期待されていることや、米シリコンバレーバンクの経営破綻を発端とした米国の金融システムへの不安の高まりから、安全資産とされる米国債に買いが集まったこと等を受けて、米国債金利が低下したこと。

### <下落要因>

- ・FRBによる利上げペースの鈍化が市場で期待されており、また、米国の金融システムへの不安の高まりから、米国債金利が低下基調となったこと等を受けて、米ドルが売られやすい展開になり、米ドル安円高が進んだため。

### <投資環境>

#### （米国国債市況）

2022年11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）にて、インフレ高進を抑制するために行われている利上げペースの減速が適切との指摘が確認され、市場で利上げペースの鈍化や2023年内の利下げ開始が期待されていることや、2023年3月に米シリコンバレーバンクが経営破綻したことを発端とした米金融不安からリスク回避の動きが優勢となり、相対的に安全資産とされる米国債へ買いが集まったこと等を受けて、当作成期中の米国債金利は低下しました。

#### （為替市況：ドル円市場）

当作成期初から、利上げペースの鈍化や2023年内の利下げ開始が市場で期待されていることによる米国債金利の低下や、2022年12月に日本銀行が長期金利の許容変動幅を±0.25%から±0.5%へ拡大を決定したことで、日本円の買いが優勢になったこと等を受けて、米ドル安円高基調で推移しました。

### <当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2023年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは6.20年、時価最終利回りは3.89%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。



## <当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+0.8%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.4%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## <分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第79期、第80期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第79期	第80期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.450%	0.432%
当期の収益	36	45
当期の収益以外	8	—
翌期繰越分配対象額	3,709	3,723

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年5月15日)

項 目	第79期～第80期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.518	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.218)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(28)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	53	0.532	
作成期間の平均基準価額は、10,118円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

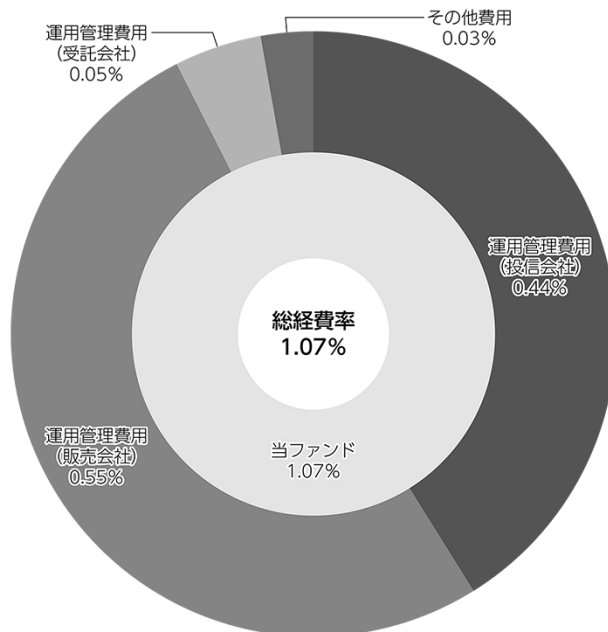
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 米国ソブリン債ポートフォリオ

### ○売買及び取引の状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第79期～第80期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		2,092	4,000	2,087	4,000

(注) 単位未満は切り捨て。

### ○利害関係人との取引状況等

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

### ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

### ○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

#### 親投資信託残高

銘	柄	第78期末	第80期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		159,322	159,327	315,309

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,911,492千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	第80期末	
	評 価 額	比 率
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	千円 315,309	% 97.5
コール・ローン等、その他	8,038	2.5
投資信託財産総額	323,347	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年5月15日現在における外貨建純資産(13,625,945千円)の投資信託財産総額(13,677,874千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年5月15日現在、1ドル=136.05円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第79期末	第80期末
	2023年2月15日現在	2023年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	308,299,284	323,347,026
コール・ローン等	8,029,576	8,037,124
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	300,269,708	315,309,902
(B) 負債	2,205,004	2,198,008
未払収益分配金	1,384,103	1,393,942
未払信託報酬	816,468	799,678
未払利息	10	20
その他未払費用	4,423	4,368
(C) 純資産総額(A-B)	306,094,280	321,149,018
元本	307,578,521	309,765,019
次期繰越損益金	△ 1,484,241	11,383,999
(D) 受益権総口数	307,578,521口	309,765,019口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,952円	10,368円

(注1) 当ポートフォリオの第79期首元本額は304,478,152円、当作成期(第79期～第80期)中における追加設定元本額は6,835,637円、同一部解約元本額は1,548,770円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第79期0.9952円、第80期1.0368円です。

○損益の状況

項 目	第79期	第80期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,058	△ 783
支払利息	△ 1,058	△ 783
(B) 有価証券売買損益	△10,878,733	15,032,976
売買益	8,377	15,040,194
売買損	△10,887,110	△ 7,218
(C) 信託報酬等	△ 821,170	△ 804,855
(D) 当期損益金(A+B+C)	△11,700,961	14,227,338
(E) 前期繰越損益金	43,706,404	30,547,578
(F) 追加信託差損益金	△32,105,581	△31,996,975
(配当等相当額)	( 54,169,364)	( 55,128,900)
(売買損益相当額)	(△86,274,945)	(△87,125,875)
(G) 計(D+E+F)	△ 100,138	12,777,941
(H) 収益分配金	△ 1,384,103	△ 1,393,942
次期繰越損益金(G+H)	△ 1,484,241	11,383,999
追加信託差損益金	△32,105,581	△31,996,975
(配当等相当額)	( 54,171,911)	( 55,131,149)
(売買損益相当額)	(△86,277,492)	(△87,128,124)
分配準備積立金	59,939,664	60,222,525
繰越損益金	△29,318,324	△16,841,551

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第79期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,126,804円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(54,171,911円)および分配準備積立金(60,196,963円)より分配対象収益は115,495,678円(10,000口当たり3,754円)であり、うち1,384,103円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第80期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,821,870円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(55,131,149円)および分配準備積立金(59,794,597円)より分配対象収益は116,747,616円(10,000口当たり3,768円)であり、うち1,393,942円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額	
		税分	込配	み期騰落	騰落	騰落			中率
	円		円		%	ポイント	%	百万円	
71期(2021年2月15日)	9,542		45		0.1	18,094.44	0.7	97.2	572
72期(2021年5月17日)	9,608		45		1.2	18,282.74	1.0	97.4	563
73期(2021年8月16日)	9,668		45		1.1	18,555.20	1.5	97.3	552
74期(2021年11月15日)	9,714		45		0.9	18,777.47	1.2	97.6	549
75期(2022年2月15日)	9,319		45		△3.6	18,223.95	△2.9	96.8	525
76期(2022年5月16日)	9,411		45		1.5	18,502.05	1.5	96.6	524
77期(2022年8月15日)	9,495		45		1.4	18,871.56	2.0	97.0	521
78期(2022年11月15日)	9,307		45		△1.5	18,705.23	△0.9	97.4	506
79期(2023年2月15日)	8,948		45		△3.4	18,255.35	△2.4	97.4	474
80期(2023年5月15日)	9,308		45		4.5	19,003.26	4.1	97.4	492

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で算出した合成指数（設定日2003年7月1日を10,000として指数化）です。

FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

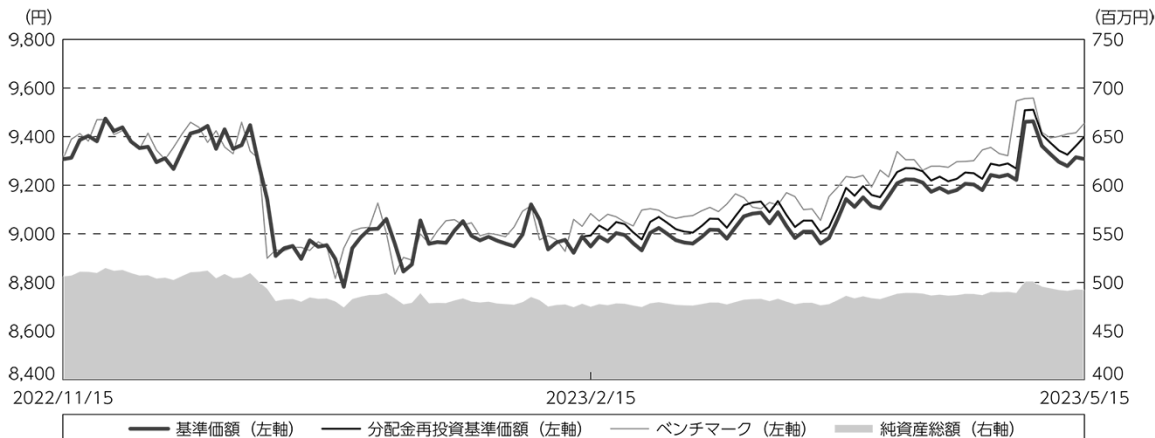
決算期	年 月 日	基 準	価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第79期	(期 首)	円		%	ポイント	%	%
	2022年11月15日	9,307		—	18,705.23	—	97.4
	11月末	9,358		0.5	18,920.76	1.2	97.4
	12月末	8,897		△4.4	17,719.15	△5.3	96.4
	2023年1月末	8,972		△3.6	18,081.40	△3.3	96.9
(期 末)							
	2023年2月15日	8,993		△3.4	18,255.35	△2.4	97.4
第80期	(期 首)						
	2023年2月15日	8,948		—	18,255.35	—	97.4
	2月末	9,024		0.8	18,283.48	0.2	97.4
	3月末	9,143		2.2	18,561.79	1.7	97.3
	4月末	9,222		3.1	19,187.42	5.1	97.6
(期 末)							
	2023年5月15日	9,353		4.5	19,003.26	4.1	97.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。



○当作成期中（第79期～第80期）の運用経過等（2022年11月16日～2023年5月15日）  
 <当作成期中の基準価額等の推移>



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注2) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2022年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第78期末基準価額		9,307円	
要因	外国債券	キャピタル	107円
		インカム	107円
	為替	ドル	△153円
		ユーロ	83円
小計		144円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△53円	
第80期末基準価額		9,308円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。  
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

#### <上昇要因>

- ・2022年7月以降、欧州中央銀行（E C B）がインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施しており、継続的な利上げが市場でも予想されていることを背景に欧州国債金利が上昇する中、日欧金利差の拡大を意識したユーロ買い円売りが優勢となり、ユーロ高円安が進んだこと。

#### <下落要因>

- ・2022年7月以降、E C B 政策理事会において、継続的に利上げが決定されており、また、その後もインフレ対策のために利上げを継続することや、量的引締めを加速が必要であるとの見方をE C B メンバーの一部が示したことなど等が材料視され、欧州国債金利が上昇したこと。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

#### <上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（F R B）による利上げペースの鈍化や2023年内の利下げ開始が市場で期待されていることや、米シリコンバレーバンクの経営破綻を発端とした米国の金融システムへの不安の高まりから、安全資産とされる米国債に買いが集まったこと等を受けて、米国債金利が低下したこと。

#### <下落要因>

- ・F R Bによる利上げペースの鈍化が市場で期待されており、また、米国の金融システムへの不安の高まりから、米国債金利が低下基調となったこと等を受けて、米ドルが売られやすい展開になり、米ドル安円高が進んだため。

## <投資環境>

### (欧州債券市況)

当作成期初の欧州国債金利は、揉み合いながら上昇しました。インフレ高進を抑制するための継続的な利上げが市場で予想されており、またE C B メンバーの金融引締めに対する積極的な姿勢が示される発言が相次いでいること等を背景に欧州国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、2023年3月にスイス金融大手であるクレディ・スイス・グループの信用不安が高まり、欧州国債金利は大幅に低下する場面もありましたが、スイスの金融最大手であるU B S がクレディ・スイス・グループの買収を決定したことを受け、その後の欧州国債金利は反発しました。

### (米国国債市況)

2022年11月の米連邦公開市場委員会（F O M C）にて、インフレ高進を抑制するために行われている利上げペースの減速が適切との指摘が確認され、市場で利上げペースの鈍化や2023年内の利下げ開始が期待されていることや、2023年3月に米シリコンバレーバンクが経営破綻したことを発端とした米金融不安からリスク回避の動きが優勢となり、相対的に安全資産とされる米国債へ買いが集まったこと等を受けて、当作成期中の米国債金利は低下しました。

### (為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から揉み合う展開が続いていましたが、2022年12月に日本銀行が長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことを受けて、ユーロ安円高方向に大きく推移しました。また、2023年3月にスイス金融大手であるクレディ・スイス・グループへの信用不安が広がり、ユーロが売られる展開もありましたが、スイスの金融最大手であるU B S による買収が決定されたことや、E C Bによる追加利上げを意識した欧州国債金利の上

昇等を背景に、大幅に反発したことで、当作成期のユーロ円は上昇しました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初から、利上げペースの鈍化や2023年内の利下げ開始が市場で期待されていることによる米国債金利の低下や、2022年12月に日本銀行が長期金利の許容変動幅を±0.25%から±0.5%へ拡大を決定したこと、日本円の買いが優勢になったこと等を受けて、米ドル安円高基調で推移しました。

### <当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

#### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2023年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.28年、時価最終利回りは2.77%となっています。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2023年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは6.20年、時価最終利回りは3.89%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

### <当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+1.0%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.6%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## <分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第79期、第80期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第79期	第80期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
当期分配金	45	45
(対基準価額比率)	0.500%	0.481%
当期の収益	28	45
当期の収益以外	16	—
翌期繰越分配対象額	1,642	1,647

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年5月15日)

項 目	第79期～第80期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 47	% 0.518	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.218)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(25)	(0.273)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	49	0.537	
作成期間の平均基準価額は、9,102円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

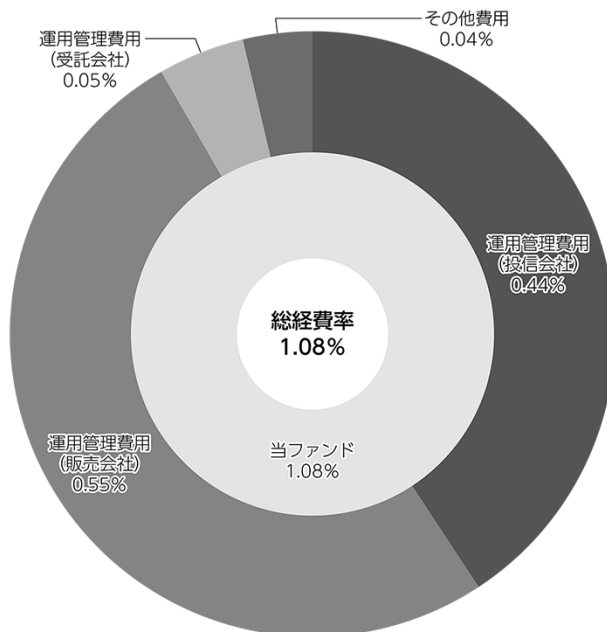
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第79期～第80期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	2,214	3,500
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		—	—	8,879	17,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第78期末	第80期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		154,373	152,159	240,867
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		133,561	124,682	246,746

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数はしんきん欧州ソブリン債マザーファンド8,589,763千口、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,911,492千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	第80期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	240,867	48.5
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	246,746	49.7
コール・ローン等、その他	8,849	1.8
投資信託財産総額	496,462	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年5月15日現在における外貨建純資産(13,549,985千円)の投資信託財産総額(13,597,451千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年5月15日現在における外貨建純資産(13,625,945千円)の投資信託財産総額(13,677,874千円)に対する比率は99.6%です。

(注4) 外貨建資産は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年5月15日現在、1ドル=136.05円、1ユーロ=147.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第79期末	第80期末
	2023年2月15日現在	2023年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	479,546,610	496,462,813
コール・ローン等	9,141,929	8,848,967
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	233,474,712	240,867,733
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	236,929,969	246,746,113
(B) 負債	4,624,753	4,109,779
未払収益分配金	2,388,347	2,380,322
未払解約金	934,442	488,682
未払信託報酬	1,295,025	1,234,146
未払利息	11	22
その他未払費用	6,928	6,607
(C) 純資産総額(A-B)	474,921,857	492,353,034
元本	530,743,958	528,960,605
次期繰越損益金	△ 55,822,101	△ 36,607,571
(D) 受益権総口数	530,743,958口	528,960,605口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,948円	9,308円

(注1) 当ポートフォリオの第79期首元本額は543,827,525円、当作成期(第79期～第80期)中における追加設定元本額は3,176,345円、同一部解約元本額は18,043,265円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第79期0.8948円、第80期0.9308円です。



○損益の状況

項 目	第79期	第80期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,216	△ 569
支払利息	△ 1,216	△ 569
(B) 有価証券売買損益	△15,329,234	22,635,760
売買益	268,020	22,709,165
売買損	△15,597,254	△ 73,405
(C) 信託報酬等	△ 1,302,294	△ 1,241,314
(D) 当期損益金(A+B+C)	△16,632,744	21,393,877
(E) 前期繰越損益金	△24,244,216	△43,011,301
(F) 追加信託差損益金	△12,556,794	△12,609,825
(配当等相当額)	( 39,775,928)	( 39,759,892)
(売買損益相当額)	(△52,332,722)	(△52,369,717)
(G) 計(D+E+F)	△53,433,754	△34,227,249
(H) 収益分配金	△ 2,388,347	△ 2,380,322
次期繰越損益金(G+H)	△55,822,101	△36,607,571
追加信託差損益金	△12,556,794	△12,609,825
(配当等相当額)	( 39,776,890)	( 39,760,525)
(売買損益相当額)	(△52,333,684)	(△52,370,350)
分配準備積立金	47,412,332	47,386,151
繰越損益金	△90,677,639	△71,383,897

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第79期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,512,888円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(39,776,890円)および分配準備積立金(48,287,791円)より分配対象収益は89,577,569円(10,000口当たり1,687円)であり、うち2,388,347円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第80期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,627,953円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(39,760,525円)および分配準備積立金(47,138,520円)より分配対象収益は89,526,998円(10,000口当たり1,692円)であり、うち2,380,322円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

## ○分配金のお知らせ

### 1万口当たり分配金（税込み）

	第79期	第80期
欧州ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
米国ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

- (注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。
- (注2) 個人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、配当所得として20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。
- (注3) 法人の受益者の場合、収益分配金のうち、課税扱いとなる普通分配金については、15.315%（所得税15%および復興特別所得税0.315%）が源泉徴収されます。
- (注4) 当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。
- (注5) 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

## &lt;しんきん欧州ソブリン債マザーファンド&gt;

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(8,589,763千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第80期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	23,200	23,848	3,521,432	25.9	—	21.5	4.4	—
フランス	31,700	30,609	4,519,735	33.2	—	21.7	8.7	2.9
オランダ	6,550	5,770	852,144	6.3	—	4.3	1.9	—
スペイン	19,050	18,786	2,774,011	20.4	—	13.1	6.0	1.3
ベルギー	7,100	6,789	1,002,546	7.4	—	5.5	1.8	—
オーストリア	5,200	4,514	666,660	4.9	—	2.3	2.6	—
合 計	92,800	90,319	13,336,531	98.1	—	68.4	25.5	4.2

(注1) 邦貨換算金額は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

参考情報

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第80期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	3,300	2,761	407,768	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,800	2,510	370,686	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,600	2,470	364,744	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	1,600	1,547	228,516	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,965	437,844	2032/8/15
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,500	4,131	610,063	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,900	3,256	480,916	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,400	4,204	620,892	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,700	2,147	317,070	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	3,000	2,870	423,815	2025/5/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	1,900	1,786	263,781	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,938	286,216	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,800	2,260	333,768	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,500	2,294	338,796	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	2,700	2,677	395,340	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,500	2,482	366,504	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,324	490,927	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	3,000	2,992	441,877	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,700	2,974	439,168	2038/10/25
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,300	2,861	422,468	2032/10/25
		オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	407
NETHER 0.250 07/15/29	0.25			500	437	64,566	2029/7/15
NETHER 0.500 01/15/40	0.5			1,600	1,119	165,313	2040/1/15
NETHER 0.750 07/15/27	0.75			1,900	1,773	261,843	2027/7/15
NETHER 2.500 01/15/33	2.5			2,050	2,033	300,240	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,100	2,709	400,146	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,200	2,087	308,253	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	2,250	2,192	323,727	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,780	410,565	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,300	1,279	188,925	2025/10/31
		SPGB 3.800 04/30/24	3.8	1,200	1,206	178,119	2024/4/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	3,100	3,294	486,450	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,900	3,235	477,824	2041/7/30
		ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	500	481
BGB 0.800 06/22/27	0.8			1,300	1,210	178,749	2027/6/22
BGB 0.900 06/22/29	0.9			1,200	1,085	160,349	2029/6/22
BGB 1.600 06/22/47	1.6			1,300	920	135,877	2047/6/22
BGB 3.000 06/22/34	3.0			1,200	1,195	176,493	2034/6/22
BGB 5.000 03/28/35	5.0			1,600	1,896	280,032	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	500	402	59,433	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	700	645	95,254	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	1,000	916	135,288	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	900	869	128,413	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,400	1,020	150,701	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	700	660	97,569	2034/5/23
合 計						13,336,531	

(注1) 邦貨換算金額は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(6,911,492千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第80期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	106,300	99,088	13,480,926	98.6	—	48.8	28.9	20.9
合計	106,300	99,088	13,480,926	98.6	—	48.8	28.9	20.9

- (注1) 邦貨換算金額は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。  
(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。  
(注3) 単位未満は切り捨て。  
(注4) —印は組み入れなし。  
(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第80期末						
	利率	額面金額	評価額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千ドル	千ドル	千円			
国債証券	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	4,100	2,950	401,467	2041/8/15	
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	3,374	459,145	2046/5/15	
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,600	4,154	565,227	2042/2/15	
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	4,700	4,130	562,003	2048/5/15	
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,463	335,195	2039/2/15	
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,845	523,154	2044/2/15	
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	2,700	2,934	399,247	2040/5/15	
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,616	356,038	2037/2/15	
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,197	162,983	2029/2/15	
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,094	148,889	2026/11/15	
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	2,300	1,889	257,103	2030/8/15	
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	2,600	2,171	295,488	2030/11/15	
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,200	3,992	543,196	2025/1/15	
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	2,700	2,281	310,426	2031/8/15	
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	2,500	2,123	288,853	2031/11/15	
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,900	1,679	228,455	2030/2/15	
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,686	501,495	2026/2/15	
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,484	474,106	2026/5/15	
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	500	449	61,121	2029/8/15	
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,701	639,614	2025/8/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,332	589,433	2025/11/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	1,000	948	128,992	2027/11/15	
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	4,500	4,383	596,369	2024/8/15	
	T-NOTE 2.500 05/15/24	2.5	4,200	4,108	558,999	2024/5/15	
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,456	198,175	2026/1/31	
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,700	2,577	350,690	2029/2/15	

## 参考情報

銘 柄			第80期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
国債証券	T-NOTE 2.750 02/15/24		2.75	5,300	5,215	709,516	2024/2/15
	T-NOTE 2.875 05/31/25		2.875	5,100	4,989	678,866	2025/5/31
特殊債券 (除く金融債)	T-NOTE 3.125 11/15/28		3.125	3,500	3,434	467,283	2028/11/15
	ASIA 1.875 01/24/30		1.875	5,300	4,749	646,196	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25		2.125	3,400	3,286	447,146	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27		0.75	2,200	1,939	263,861	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26		1.875	2,600	2,441	332,178	2026/10/27
合 計						13,480,926	

(注1) 邦貨換算金額は、2023年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第20期

(決算日：2023年2月8日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第20期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。</p> <p>②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。</p> <p>④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
	円	%	ポイント		%	百万円
16期(2019年2月8日)	15,537	△3.9	221.60	△5.3	98.5	10,341
17期(2020年2月10日)	15,958	2.7	231.99	4.7	98.5	13,040
18期(2021年2月8日)	16,988	6.5	249.57	7.6	98.3	12,436
19期(2022年2月8日)	16,661	△1.9	244.25	△2.1	98.3	12,675
20期(2023年2月8日)	15,046	△9.7	225.13	△7.8	98.2	12,701

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2022年2月8日	円	%	ポイント		%	%
	16,661	—	244.25	—	98.3	
2月末	16,267	△2.4	240.64	△1.5	98.1	
3月末	16,619	△0.3	245.24	0.4	97.4	
4月末	16,214	△2.7	241.49	△1.1	97.9	
5月末	16,067	△3.6	236.26	△3.3	97.9	
6月末	16,014	△3.9	238.90	△2.2	98.1	
7月末	16,277	△2.3	238.76	△2.2	98.4	
8月末	15,609	△6.3	231.49	△5.2	98.4	
9月末	15,180	△8.9	226.47	△7.3	98.2	
10月末	15,922	△4.4	235.04	△3.8	98.0	
11月末	15,764	△5.4	235.42	△3.6	98.4	
12月末	14,886	△10.7	219.88	△10.0	97.6	
2023年1月末	15,125	△9.2	226.13	△7.4	98.1	
(期末) 2023年2月8日	15,046	△9.7	225.13	△7.8	98.2	

(注) 騰落率は期首比です。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

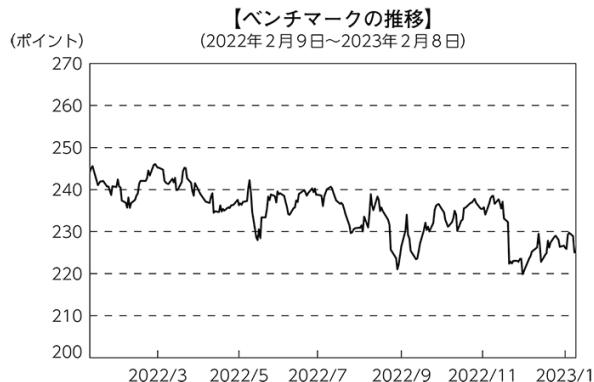
※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。



○第20期の運用経過等（2022年2月9日～2023年2月8日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・欧州の景気減速への懸念が高まっているものの、欧州中央銀行（ECB）政策理事会が継続的な利上げを実施していることや、イギリス財政の悪化懸念を背景に、欧州国債金利が上昇基調で推移したことを受けて、ユーロ高円安となったこと。

＜下落要因＞

- ・欧米の景気減速への懸念がくすぶっている一方で、高インフレを抑制するため、ECB政策理事会によって積極的な金融引き締めが行われたことを受け、ドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇（債券価格は下落）したこと。

## ＜投資環境＞

### （欧州債券市況）

当期は、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきており、今後も継続的な利上げが予想されていることや、2022年9月にイギリス政府による大規模な減税政策と国債増発計画の発表を受けて、イギリスの長期金利が急上昇した流れがドイツ国債を中心とした欧州国債全体へ波及し、欧州金利は上昇基調で推移しました。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当初初から、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきたこと等を背景に、ユーロが買われやすい展開となった一方で、イギリス政権が発表した経済対策に伴う財政悪化への懸念が欧州全体へと広がり、ユーロ安となる場面もありました。その後は、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られ、ユーロ円でも一時的に急激な円高が進む場面も見られましたが、2022年10月以降のECB政策理事会でも継続的な利上げが引き続き行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となりました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2023年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは7.47年、時価最終利回りは2.71%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は $\Delta 9.7\%$ となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は $\Delta 7.8\%$ でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月9日～2023年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.045	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(7)	(0.044)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.045	
期中の平均基準価額は、15,828円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2022年2月9日～2023年2月8日)

公社債

外 国	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	11,869	5,858
	フランス	国債証券	14,025	7,911
	オランダ	国債証券	2,025	2,863
	スペイン	国債証券	8,876	5,373
	ベルギー	国債証券	783	3,479
	オーストリア	国債証券	492	1,474

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月9日～2023年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年2月8日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末								
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%	
ドイツ	22,200	22,669	3,185,237	25.1	—	20.4	3.6	1.1	
フランス	33,000	31,882	4,479,825	35.3	—	23.5	8.8	3.0	
オランダ	5,550	4,871	684,523	5.4	—	4.3	1.1	—	
スペイン	18,450	18,222	2,560,421	20.2	—	12.7	6.3	1.1	
ベルギー	7,100	6,823	958,736	7.5	—	5.7	1.9	—	
オーストリア	4,900	4,313	606,079	4.8	—	3.0	1.8	—	
合 計	91,200	88,782	12,474,824	98.2	—	69.5	23.5	5.2	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第20期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
			%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ユーロ	ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	3,200	2,652	372,677	2031/8/15
			DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,800	2,489	349,840	2029/2/15
			DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,175	305,623	2026/2/15
			DBR 1.000 08/15/25	1.0	1,100	1,060	149,012	2025/8/15
			DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,951	414,701	2032/8/15
			DBR 1.750 02/15/24	1.75	1,000	990	139,228	2024/2/15
			DBR 4.000 01/04/37	4.0	2,400	2,862	402,262	2037/1/4
			DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,900	3,260	458,151	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,400	4,225	593,739	2034/7/4	
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,800	2,221	312,207	2031/11/25	
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	3,000	2,857	401,473	2025/5/25	
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	1,900	1,781	250,270	2027/5/25	
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	3,500	2,955	415,343	2034/5/25	
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,800	2,275	319,716	2036/5/25	
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,500	2,299	323,050	2031/5/25	
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	2,700	2,682	376,947	2024/5/25	
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,500	2,488	349,625	2030/5/25	
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,327	467,581	2027/10/25	
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	3,000	3,086	433,659	2045/5/25	
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,700	3,020	424,442	2038/10/25	
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,300	2,885	405,505	2032/10/25	
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	405	57,023	2031/7/15	
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	434	61,104	2029/7/15	
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,500	1,075	151,087	2040/1/15	
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	1,100	1,022	143,634	2027/7/15	
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	1,950	1,933	271,673	2033/1/15	
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,100	2,701	379,558	2029/7/30	
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,700	2,560	359,745	2027/4/30	
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	2,250	2,191	307,920	2026/4/30	
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,787	391,638	2030/7/30	
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	984	138,275	2025/10/31	
		SPGB 3.800 04/30/24	3.8	1,000	1,010	142,033	2024/4/30	
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	3,100	3,341	469,460	2037/1/31	
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,300	2,645	371,788	2041/7/30	
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	500	479	67,392	2025/6/22	
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	1,300	1,206	169,566	2027/6/22	
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,400	1,262	177,365	2029/6/22	
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,300	955	134,260	2047/6/22	
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,000	1,000	140,573	2034/6/22	
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,600	1,918	269,576	2035/3/28	
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	300	240	33,740	2031/2/20	
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	1,000	917	128,849	2027/4/20	
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	1,000	910	127,941	2028/2/20	
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	700	675	94,855	2025/10/20	
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,200	905	127,235	2047/2/20	

## しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 20 期 ー

銘 柄	当 期 末				償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ	%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オーストリア 国債証券 RAGB 2.400 05/23/34	2.4	700	665	93,456	2034/5/23
合 計				12,474,824	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

### ○投資信託財産の構成

(2023年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,474,824	% 98.2
コール・ローン等、その他	227,016	1.8
投資信託財産総額	12,701,840	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産（12,646,656千円）の投資信託財産総額（12,701,840千円）に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年2月8日現在、1ユーロ＝140.51円です。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 20 期 ー

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,701,840,885	
コール・ローン等	87,070,949	
公社債(評価額)	12,474,824,137	
未収利息	122,330,582	
前払費用	17,615,217	
(B) 負債	3,886	
未払利息	6	
その他未払費用	3,880	
(C) 純資産総額(A-B)	12,701,836,999	
元本	8,441,728,106	
次期繰越損益金	4,260,108,893	
(D) 受益権総口数	8,441,728,106口	
1万口当たり基準価額(C/D)	15,046円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,608,222,112円、期中追加設定元本額は2,780,638,394円、期中一部解約元本額は1,947,132,400円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、欧州ソブリン債ポートフォリオ150,868,697円、欧米ソブリン債ポートフォリオ154,373,653円、しんきん3資産ファンド(毎月決算型)6,708,875,518円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)665,031,119円、しんきん世界アロケーションファンド262,539,892円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)133,285,774円、しんきん3資産ファンド(1年決算型)281,434,432円、しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)85,319,021円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.5046円です。

○損益の状況 (2022年2月9日~2023年2月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	257,634,912	
受取利息	257,697,295	
その他収益金	13,771	
支払利息	△ 76,154	
(B) 有価証券売買損益	△1,542,379,639	
売買益	856,170,178	
売買損	△2,398,549,817	
(C) 保管費用等	△ 5,623,281	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,290,368,008	
(E) 前期繰越損益金	5,067,609,206	
(F) 追加信託差損益金	1,642,661,606	
(G) 解約差損益金	△1,159,793,911	
(H) 計(D+E+F+G)	4,260,108,893	
次期繰越損益金(H)	4,260,108,893	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第20期

(決算日：2023年2月8日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第20期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。



○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純総資産額
	期騰落	中率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
16期(2019年2月8日)	円	%	ポイント	%	%	百万円
	15,719	3.7	362.48	4.0	98.8	10,408
17期(2020年2月10日)	17,061	8.5	393.90	8.7	98.5	13,343
18期(2021年2月8日)	17,139	0.5	392.59	△0.3	98.6	12,510
19期(2022年2月8日)	18,027	5.2	415.21	5.8	98.5	12,921
20期(2023年2月8日)	18,693	3.7	433.40	4.4	98.6	12,701

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2022年2月8日	円	%	ポイント	%	%	
	18,027	—	415.21	—	98.5	
2月末	17,939	△0.5	415.25	0.0	98.9	
3月末	18,526	2.8	424.66	2.3	98.7	
4月末	19,028	5.6	445.12	7.2	98.6	
5月末	18,991	5.3	436.81	5.2	98.7	
6月末	19,851	10.1	457.96	10.3	98.6	
7月末	19,976	10.8	456.55	10.0	98.3	
8月末	20,081	11.4	461.89	11.2	98.9	
9月末	20,250	12.3	465.76	12.2	98.6	
10月末	20,438	13.4	471.63	13.6	98.2	
11月末	19,511	8.2	454.49	9.5	98.8	
12月末	18,675	3.6	426.66	2.8	97.9	
2023年1月末	18,739	3.9	431.95	4.0	97.9	
(期末) 2023年2月8日	18,693	3.7	433.40	4.4	98.6	

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第20期の運用経過等（2022年2月9日～2023年2月8日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。

＜下落要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されており、またその後もインフレ対策のために利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いとFRB高官等が示唆していることを受けて、米国金利が上昇（債券価格は下落）したこと。

## ＜投資環境＞

### （米国国債市況）

当期初から金利は上昇傾向での推移が続いていたものの、2022年6月中旬から7月末にかけては、米経済指標が冴えない結果となったことで米景気減速懸念が高まり、金利が低下（債券価格は上昇）する局面がありました。8月以降は、インフレ高進を抑制するため、FRBが大幅な利上げを継続的に実施していることや、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと示唆されたことで、金利は再び上昇基調で推移しました。その後、11月の米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことを受け、市場で利上げの停止が期待されていることや、11月のFOMC議事要旨にて、利上げペースの減速が適切との指摘が確認されたこと等を背景に、当期末にかけて金利は低下傾向で推移しました。

### （為替市況：米ドル円市場）

当期初から2022年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで米国金利が上昇し、米ドル高円安基調で推移しました。11月以降の為替は、米CPIの結果を受けて米国国債金利が大きく低下したことや、日本銀行が長期金利の許容変動幅を±0.25%から±0.5%への拡大を決定したことを受けて、米ドル安円高が進みました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2023年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは6.19年、時価最終利回りは4.11%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+3.7%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+4.4%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年2月9日～2023年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.024	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.024	
期中の平均基準価額は、19,333円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2022年2月9日～2023年2月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 30,792	千ドル 33,231
		特殊債券	1,338	2,155

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2022年2月9日～2023年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	103,500	95,608	12,517,985	98.6	—	47.1	31.1	20.3
合 計	103,500	95,608	12,517,985	98.6	—	47.1	31.1	20.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第20期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券					
	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	4,100	2,933	384,135	2041/8/15
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	3,800	2,999	392,702	2046/5/15
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,100	3,687	482,859	2042/2/15
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,100	2,750	360,110	2048/5/15
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,433	318,579	2039/2/15
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,842	503,118	2044/2/15
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	2,700	2,911	381,239	2040/5/15
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,585	338,569	2037/2/15
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,181	154,661	2029/2/15
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,086	142,309	2026/11/15
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,400	1,122	146,970	2030/8/15
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	2,600	2,116	277,121	2030/11/15
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,000	3,751	491,192	2025/1/15
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	2,700	2,232	292,240	2031/8/15
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	2,500	2,075	271,782	2031/11/15
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,900	1,644	215,368	2030/2/15
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	2,900	2,696	353,014	2026/2/15
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,425	448,562	2026/5/15
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	500	439	57,558	2029/8/15
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,638	607,348	2025/8/15
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	3,500	3,326	435,539	2025/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,100	1,952	255,631	2027/11/15
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	3,900	3,764	492,934	2024/8/15
	T-NOTE 2.500 05/15/24	2.5	3,900	3,786	495,786	2024/5/15
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	4,000	3,837	502,382	2026/1/31
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,900	2,713	355,342	2029/2/15
	T-NOTE 2.750 02/15/24	2.75	5,300	5,187	679,210	2024/2/15
	T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,937	646,484	2025/5/31
	T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	3,500	3,372	441,517	2028/11/15
	特殊債券 (除く金融債)					
	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,635	606,958	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,247	425,160	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,889	247,443	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,399	314,147	2026/10/27
合	計				12,517,985	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,517,985	% 98.6
コール・ローン等、その他	183,019	1.4
投資信託財産総額	12,701,004	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(12,646,842千円)の投資信託財産総額(12,701,004千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年2月8日現在、1ドル=130.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月8日現在)

○損益の状況 (2022年2月9日~2023年2月8日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,701,004,634
コール・ローン等	77,900,360
公社債(評価額)	12,517,985,044
未収利息	93,649,822
前払費用	11,469,408
(B) 負債	3,972
未払利息	6
その他未払費用	3,966
(C) 純資産総額(A-B)	12,701,000,662
元本	6,794,667,025
次期繰越損益金	5,906,333,637
(D) 受益権総口数	6,794,667,025口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,693円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	326,791,615
受取利息	326,858,407
支払利息	△ 66,792
(B) 有価証券売買損益	162,653,149
売買益	1,702,572,756
売買損	△1,539,919,607
(C) 保管費用等	△ 3,159,538
(D) 当期損益金(A+B+C)	486,285,226
(E) 前期繰越損益金	5,753,778,482
(F) 追加信託差損益金	1,736,095,138
(G) 解約差損益金	△2,069,825,209
(H) 計(D+E+F+G)	5,906,333,637
次期繰越損益金(H)	5,906,333,637

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,167,983,678円、期中追加設定元本額は1,845,304,862円、期中一部解約元本額は2,218,621,515円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、米国ソブリン債ポートフォリオ160,384,935円、欧米ソブリン債ポートフォリオ127,842,906円、しんきん3資産ファンド(毎月決算型)5,354,587,005円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)536,363,834円、しんきん世界アロケーションファンド211,748,127円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)106,913,397円、しんきん3資産ファンド(1年決算型)227,915,544円、しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)68,911,277円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.8693円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。